

サンデンフォレスト（群馬県）

認定事業者名：サンデンファシリティ株式会社

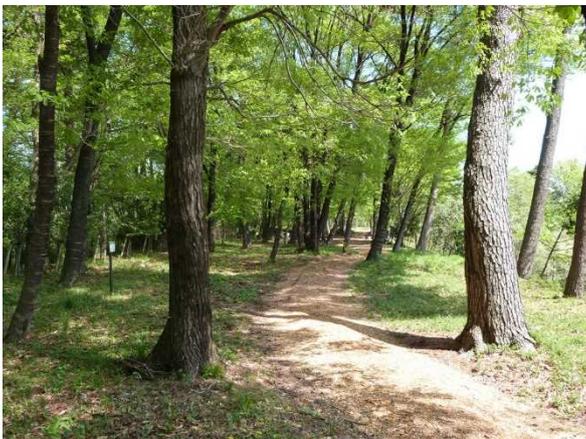
活動を行うようになったきっかけ

サンデンフォレストは、「環境と産業の矛盾なき共存」をコンセプトとした、赤城山南麓の事業所です。近自然工法という周囲の豊かな自然環境の再生に配慮した手法を用いて、2002年に開設されました。事業所では、自動販売機・ショーケースなどの生産活動を行っています。

また、敷地の半分を占める森林は、環境教育や自然体験活動のフィールドとして地域の方に利用いただいています。2014年8月には、群馬県より「体験の機会の場」の認定を受けました。



活動として行っていること



受入れ事業として、工場見学、自販機ミュージアムの見学、森のガイドウォーク、ネイチャークラフト、森づくり活動等を行っています。

また、事業所の一般公開日には、里山活動、工場見学会、森の子育て広場、森林整備活動、観察会等を主催しています。

その他、地域連携事業として、地域団体と連携した森林整備・保全活動を行っています。

参加者の安全確保について

活動実施時に、以下のことを行っています。

【事前】スタッフミーティングにて、予見されるリスクを共有。過去に同様の活動を実施して

いる場合は、ヒヤリハット事例を検索・共有。

【事中】活動前に、必ずセーフティトークの実施。ヒヤリとした事柄は、即時に全体へ連絡・注意喚起。スタッフ全員が応急処置をできるように、ファーストエイド用品を常備。

【事後】事後ミーティングにて、ヒヤリハット事例をその場で記録する。危険箇所や処置が必要な事柄については、即時に修理・修繕を行う。

また、定期巡回、救急用品のチェック・更新、動力機器・車両の定期点検と始動前チェックを実施しています。

体験の機会の場への参加の状況について

2017年度には、教育機関（幼稚園、小中学校、高校・養護学校、大学）、社会教育機関（公民館、教育委員会）、福祉機関（保育園、学童保育、介護福祉団体）、企業、自主サークル等131の団体、約5,500名が参加しました。また、乳幼児から高齢者まであらゆる世代の3,469名が参加しました。

〔参加した方の声〕

- ・自然を守りながら活動しているという姿に感動した。
- ・児童の実態に合わせたお話の内容でよく理解できたようです。
- ・昔と新しい自販機があり、とても楽しめました。自販機の仕組みも見られてとても子供たちが集中して見ていました。

地域や国、世代を超えた交流について

日本企業の事例として、中国からの高校生の視察受入れを実施しました。また、主催事業では地元の方が講師となり、子育て世代が地域に伝わる知恵を学ぶといった取組を行いました。



環境教育としての効果について

産業と環境の共存を目指す企業の姿を知っていただくことができます。また、里山の自然を直接体験し、森林、生き物などの自然の背景にある事柄や、自然とともに生きる知恵を学ぶこ

とができます。企業の社員向けの環境教育として、森林のはたらきや生物多様性の重要性について学ぶ機会も提供しています。

終わりに

「体験の機会の場」の認定を受けることで、認定団体同士の交流や、所在地の自治体との連携事業のきっかけとなります。また、公的に認められることで、学校や地域への信頼度の向上や提供プログラムの質の維持に役立っています。

所在地・申込み方法

所在地 群馬県前橋市粕川町中之沢7番地

申込方法 【団体の場合】

- ・ 10名より受入れ
- ・ 予約：来社日の1年前～1か月前まで
- ・ 時間：9時～16時半まで
- ・ 費用：実費のみ
- ・ 申込先

電話 027 - 285 - 3225 又はホームページより <http://www.sandenforest.com/guidance/>

【個人の場合】

- ・ 主催事業への参加
- ・ 申込詳細は、ホームページより